

## 新春対談

イケア・ジャパン株式会社

### ペトラ・ファーレ社長



横浜市長

### 山中竹春



## 循環型の地球にやさしい社会をヨコハマから

### 新春のご挨拶

あけましておめでとうございます。市民の皆様が新たな年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

一昨年の子どもの医療費の無料化に続き、昨年は、出産費用・妊婦健診費用の独自助成、小学校の夏休み中の昼食提供、保育園への紙おむつなどの持参が不要なサブスクサービスを開始しました。いよいよ来年4月から開始となる中学校での全員給食に向けた準備も進んでいます。がん検診の無料化（65歳時点）、今年1月からの精密検査の無料化（70歳以上）をはじめ、総合的ながん対策にも取り組んでいます。今後も、更なる子育て支援の充実をはじめ、あらゆる世代が暮らしやすくなるための施策を充実させていきます。

今年は、市民の皆様が「出かけやすくなった」、「移動が便利になった」と思っただけのよう、地域交通の拡充に本格的に着手します。また、公園や学校のトイレ

の洋式化や学校体育館の空調整備など、市民の皆様からの改善要望が多かった身近な環境の整備を大幅に加速させます。

そして、大規模地震の被害から市民の皆様をお守りするため、抜本的な対策に乗り出します。誰もが安心して避難生活を送ることができるよう備蓄品を大幅に充実させるほか、物資輸送や救援活動の要となる横浜市初の広域防災拠点を整備するなど、徹底的に「市民目線」に立った取組で災害対策を大幅に強化します。

環境と共生し、市民の皆様と共につくる「環共」がテーマの国際博覧会「GREEN × EXPO 2027」まであと2年あまり。進捗する会場計画などについてタイムリーにお伝えし、市民の皆様とご一緒に、開催への機運を益々高めていきます。

今年も、市民の皆様が「声」を第一に、誰もが安心して暮らせるまちの実現に向けて、力を尽くしてまいります。

横浜市長 山中竹春

横浜市版

16面 横浜春節祭2025 開催

各種手続・窓口案内  
市営交通の案内など

横浜市コールセンター（毎日8時～21時）  
☎045-664-2525 ☎045-664-2828

横浜市コールセンター 検索

区役所の  
開庁時間

●平日8時45分～17時（祝日・休日・12月29日から1月3日を除く）  
※昼の時間帯はお待たせする時間が長くなる場合があります。  
●毎月第2・4土曜日 9時～12時  
（戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部の業務）

横浜市データ  
2024年  
12月1日現在

人口 3,771,005人

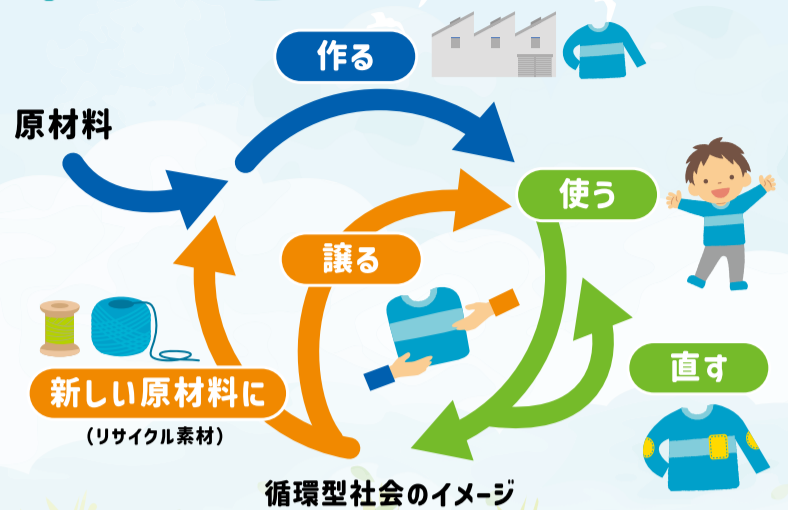
世帯数 1,819,632世帯

横浜市 推計人口・世帯 検索

# 循環型の地球にやさしい社会を ヨコハマから

私たちの生活に深刻な影響を及ぼす気候変動への対策を推進するため、横浜市は、世界最大の家具量販店イケアの日本法人であるイケア・ジャパン株式会社と連携協定を締結し、**循環型社会**や脱炭素化への取組を共に進めています。

地球環境にも人にもやさしいこれからの暮らしについて、同社のファーレ社長と山中市長が語りました。



## ヨコハマから地球にやさしい行動を

ファーレ社長（以下 **7A**）私の出身のスウェーデンの人達は、気候変動や自然の減少がもたらす影響について、積極的に学び、脱炭素に向けた行動をしています。イケア・ジャパンでは、日本においても、気候変動などの社会的課題の解決につながる消費者行動を促進し、それを後押しする店舗の運営や、製品の品質向上に取り組むことが企業としての大切な役割と考えています。

まず、2018年からすべての大型店舗において、二酸化炭素等をほとんど排出しないクリーンなエネルギーを100%使用して、お客様をお迎えしています。2013年からは社内のすべての電球にLEDを使用し、現在、イケアで販売しているのもLED電球のみです。

今後は、すべての輸送用大型トラックをガソリン車から電気自動車（EV）に切り替えて、製品輸送にともなうCO<sub>2</sub>排出ゼロを目指しています。お客様のご自宅に商品をお届けするサービスでもEVトラックを使用しています。



排出ガスゼロのイケアEVトラック

山中市長（以下 **7B**）EVの使用は、CO<sub>2</sub>削減に向けた大切な取組ですよね。市役所としても、公用車やごみ収集車を、EVに切り替えていくのはもちろんですが、市内で

進められているEV化を後押しするため、急速充電器の設置を加速しています。車を使用しない時間帯にゆっくり充電する普通充電以外に、出先の渋滞や充電忘れでバッテリー残量が少なくなった場合に、急速充電器が利用できる環境が整わないと、EVは普及しません。

横浜市には、現在、自治体最多となる200のEV急速充電器が設置されていますが、2030年度までに400に倍増させます。また、EVトラックなどの大型車が利用できる急速充電スポットを、日本で初めてみなとみらい地区の公道上に設置しました。



日本初のEVトラックも利用可能な公道上急速充電ステーション

**7A** 素晴らしい取組ですね！行政がこういう社会基盤を整えてくれると、環境に優しい取組が横浜でどんどん広がりますね。

## ごみをださない循環型社会へ

**7B** イケアでは、できるだけリサイクル素材（ある産業で生産され使用済となったものを、単に廃棄せずに加工しなおして作り出された素材）などを使って新たな製品を作ることを重視されているとお聞きしました。「できるだけ廃棄物を出さずに再活用する」という、いわゆる循環型社会の考え方ですよね。



**7A** プラスチック、金属、木材、繊維など多岐にわたりますが、弊社製品の原材料には、リサイクル素材や再生可能素材の使用を進めています。現在の製品の原材料のうち、17%がリサイクル素材を使用し、56%が植物などの再生可能素材を用いています。そして、2030年までに、全ての製品を、リサイクル素材や再生可能素材のみで製造することを目指しています。

また、イケアでは、お客様から買い取ったイケアの家具や店頭展示品などを購入できる「サーキュラーマーケット」を全店舗で展開しています。2023年までに買い取った家具は45,000点。これらは十分に点検や修理をして販売しています。お客様に使い捨てではない製品を推奨して、製品に第2の人生を与えたいと思っています。限りある資源を有効に活用し、新たな廃棄物の量も減らすことで、循環型社会の未来に近づきたいと思っています。



買い取られた家具の購入が可能なサーキュラーマーケット

**山** これまでのビジネス目線だと「新しいものをどんどん売る」という考え方もあるのかもしれませんが、今は気候変動や環境に配慮した取組が企業価値に直結する時代ですね。

**7A** 私達は、リサイクルや買い取り等をはじめ、一つの製品を色々な意味で「長く使ってもらえる」ことが「良いビジネス」だと思っています。もっとも重要なのは、家庭のことだけでなく、世界や地球全体のこととして考えていく視点です。人々の暮らしを豊かにするのはもちろんですが、長く使ってもらえる製品を提供して地球にもやさしくすることが重要だと思います。そのような視点を持ち、未来に向けて、妥協せずにチャレンジしていきますし、それがイケアに求められている社会的責任だと考えています。



**山** 「循環型社会」というと、難しく聞こえるかもしれませんが、身近なところから取り組めるんですよ。

一例として、横浜市では、家庭で食べきれない未使用の食品を寄付する「フードドライブ」を実施しています。CO<sub>2</sub>排出の原因にもなっている「食品ロス」の削減や、「食の支援」につながる、環境にも人にもやさしい取組です。

区役所などの公共施設、市内で開催するイベント等に食品を持ち寄ってもらい、集めた食品はフードバンク団体や社会福祉協議会を通じて、ひとり親家庭や子ども食堂、福祉施設などに寄贈しています。2023年度には10トン以上の食品を寄贈しました。市内の小売店舗でも実施されるなど、取組はどんどん広がっています。今後も、「もったいない」を

「ありがとう」につなげるフードドライブの取組を広げていきます。

また、ご家庭で揚げ物に使った油（廃食油）を再資源化し、飛行機の燃料に生まれ変わらせるユニークな取組に参画しています。市民の皆様へ、専用ボトルに廃食油を入れて、スーパーなどの回収スポットに持ち寄っていただいています。廃食油から作られた航空燃料は、従来の燃料に比べてCO<sub>2</sub>排出量を約80%削減することができると言われているんです。



飛行機の燃料に生まれ変わる廃食油のリサイクルボックス

一人ひとりの行動の積み重ねは、やがて、社会を変える大きな力になります。そして、市民の皆様へ、生活の中の身近な行動が循環型社会につながっていることを実感していただきたい、と思っています。

**7A** イケアにはレストランがあるのですが、レストランのコーヒーから、大量のコーヒーかすが発生します。イケア港北独自の取組として、それを農家の方に週1回約100kgお渡しして、肥料の原材料として利用していただいています。



コーヒーかすを用いた肥料

**山** 横浜市でも、下水を処理する過程で発生した「リン」を取り出し、それを肥料として市内の農家で使っていただく取組を開始してい

ます。下水が農家にとって価値ある資源に変身するとは思ってもいませんでした。

その他にも、使用済みペットボトルを回収して加工し、新たなペットボトルを作る取組も進めています。この方法だと、一からペットボトルを作る方法に比べて、製造時に発生するCO<sub>2</sub>を約60%減らすことができます。さらに不要になった服を回収して加工を行い、新たな服に生まれ変わらせる取組等も進んでいます。技術が進化すれば、さらに色々なものがリサイクルできるようになると思います。



みなとみらい地区のペットボトルリサイクルボックス

## 環境にも人にもやさしいまちへ

**7A** 横浜市は先進的な気候変動対策のほか、子育て支援にも最優先に取り組んでいて、とても住みやすいまちだと思います。横浜市とイケアの間に、持続可能な社会に向けて、良きパートナーシップがあることを幸せに思います。イケアは今後も、人々が働き、生活する環境を支援したいと思っていますし、社会的・経済的に困難な状況にある方へのサポートも行っていきます。私の大好きな横浜がより良いまちになるようできる限りの貢献をしたいと思っています。

**山** 横浜市としても、環境先進企業のイケアとのパートナーシップは心強く、今後も、新たな取組と一緒に生み出せたらと思います。これまで捨てられていたものを再利用や再資源化することで、生活に役立つ製品として生まれ変わらせ、それを市民の皆様の日常の中でご利用いただく。こういうサイクルが浸透すれば、「環境にも人にもやさしいまち」にさらに近づくと思います。

## ペトラ・ファーレ

- イケア・ジャパン株式会社 代表取締役社長(CEO) 兼 Chief Sustainability Officer (CSO)
- スウェーデン出身。2000年にイケア・スウェーデン入社。イケア・ポーランドの副社長などを歴任後、ベッドルーム部門の世界展開に関わるビジネス戦略や製品開発などの責任者として活躍。2021年8月から現職。
- 趣味は子どもたちとのスキー、日本探索。

## イケアについて

1943年にスウェーデンで創業され、現在はオランダに本社をおく世界最大の家具量販店。現在、世界31カ国で店舗を運営(日本法人のイケア・ジャパンは2002年に設立)。

「循環型社会を促進させることで、イケアのビジネスを成長させながらも資源の再生を行う」という方針の下、カーボンフットプリントの削減に取り組むなど、気候変動対策の分野でリーダーシップを発揮している。



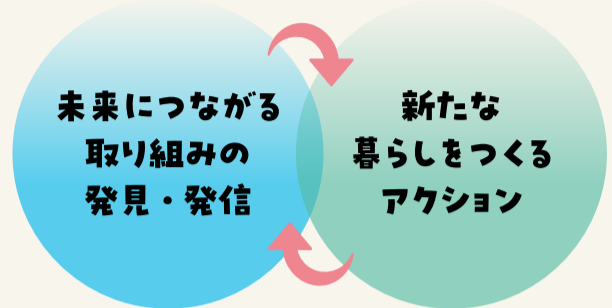
GREEN×EXPO 2027  
公式マスコットキャラクター  
トゥンクトゥンク



GREEN  
x  
EXPO  
2027  
YOKOHAMA JAPAN

「幸せを創る明日の風景」に向けて  
ヨコハマから新しい暮らし方をはじめよう。

# 地球1個分で暮らそう STYLE 100 CITY OF YOKOHAMA



「地球1個分で暮らそう STYLE100」は、地球にやさしい未来をつくる  
横浜のさまざまな人や活動を紹介し、新しい暮らしをみんなで作っていくプロジェクトです。  
GREEN×EXPO 2027の開催までに、横浜から100の新たな「STYLE」を発信していきます。

**地球にやさしい  
ハマスタをつくろう。**

地球1個分で暮らそう STYLE 100 #001

「エコハマスタジアムProject」として、横浜スタジアムで試合を楽しみながら、ファンみんなではじめるごみ分別。地球にやさしい、新しいエコ観戦スタイルを。



**子どもの好奇心で  
自然を調査しよう。**

地球1個分で暮らそう STYLE 100 #003

毎年1万人、これまでに延べ12万人の市内の小学5年生が参加する、「こども『いきいき』生き物調査」。種類や生息数の変化から、自然環境に興味を持つきっかけに。

**ロッカー型自販機で、  
食品ロスをなくそう。**

地球1個分で暮らそう STYLE 100 #002

賞味期限内でありながら廃棄されてしまう専門店のパンを購入できる「食品ロス削減SDGsロッカー」。新たな挑戦として、規格外野菜販売を年度内に開始し、さらなる食品ロス削減へ。



**横浜の都市農業を  
世界にひろげよう!**

地球1個分で暮らそう STYLE 100 #004

生産地と消費地が近く、地産地消がさかんな横浜の都市農業。生産・流通・販売のノウハウをアフリカやラテンアメリカ各国へ発信し、環境にやさしい横浜の農業を世界へ広げる。

横浜での魅力的な  
STYLE を続々公開!

詳しくはこちら

問合せ 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 GREEN×EXPO推進課 ☎045-671-4627 ☎045-212-1223



## まちが一つになって 日本一の喜びを分かちあいました

26年ぶりの日本シリーズ優勝!

プロ野球2024年日本シリーズの優勝を記念して、11月30日(土)に横浜DeNAベイスターズが優勝パレードを行いました。パレードに合わせ、市内52施設でブルーのライトアップや、大観覧車「コスモクロック21」での特別演出、「横浜スパークリングトワイライト」でのブルー花火のほか、商業施設など約200店舗でキャンペーンを実施し、横浜のまちが熱く盛り上がりました。



広報よこはまPlusでは、トップスポーツチームとの連携について紹介しています。



問合せ にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課 ☎045-671-4566 ☎045-664-0669

# はま情報

今月11日以降の、市や外郭団体などが主催・共催の事業を掲載しています  
市外局番は「045」です

## 募集


### 横浜市交通局職員募集

**バス乗務員・整備員**  
 交通局人事課 ☎671-3167



### 横浜市会計年度任用職員募集中

問合せ等詳細はこちら



### 人と動物との共生推進よこはま協議会 市民委員募集

選考2人。任期は2025年3月から2年間。  
 詳細は1月8日から [WEB](#) で  
 申 2月7日まで  
 問 横浜市動物愛護センター (☎471-2111 ☎471-2133)

### 保育士就職面接・相談会 保育士としての就業を目指す人募集

保育士資格取得見込み者や保有者の復職・就職を支援。会場など詳細は [WEB](#) で  
 日 1月25日(土)13時～16時  
 問 ども青少年局保育対策課 (☎671-4469 ☎550-3606)

### 就職氷河期世代対象 インターンシップ生募集

集合研修、市内企業とのマッチング交流会、就労体験。38～53歳、選考10人。  
 詳細は [WEB](#) で  
 申 1月24日まで  
 問 会場の就職サポートセンター (☎0120-957-139) か経済局雇用労働課 (☎671-2343 ☎664-9188)

### UR賃貸住宅入居者募集

家賃補助付きセーフティネット住宅。先着4戸。詳細は1月10日から [WEB](#) で  
 申 1月10日から  
 問 UR横浜営業センター (☎461-4177 ☎440-6012) か建築局住宅政策課 (☎671-4121)



**自分の住むまちを守る 消防団員募集中!**

災害発生時に消火活動などに従事。活動内容に応じて報酬あり。18歳以上の学生、仕事を持つ人や子育て中の人も活躍中。詳細は [WEB](#) で  
 問 消防局消防団課 (☎334-6403 ☎334-6517)



## 福祉・高齢

### 人工肛門・膀胱 初心者相談会 参加者募集

人工肛門・膀胱保有者と関係者、当日先着50人  
 日 1月26日(日)13時30分～16時30分  
 所 健康福祉総合センター  
 問 オストミー協会(団体交流室内、☎475-2061 ☎475-2064) か健康福祉局障害自立支援課 (☎671-3602)

### 「小児ぜんそく・アレルギー教室」オンライン開催

こどものアトピー性皮膚炎。先着90人。  
 詳細は [WEB](#) で  
 日 2月27日(木)15時～16時30分  
 申 1月14日から  
 問 みなと赤十字病院 (☎628-6381 ☎628-6101)

### 中途失聴者・難聴者のための手話コミュニケーション教室 参加者募集

①入門②初級  
 18歳以上の聴覚障害者と関係者、各コース選考  
 日 4月5日～2026年1月24日の火・水・土曜13時30分～15時30分、全24回  
 所 健康福祉総合センター  
 費 1,500円  
 申 2月10日までに [往](#) に [必要事項](#)、年齢、聴覚障害級の有無を書いて、中途失聴・難聴者協会(〒222-0035港北区鳥山町1752、☎475-2064)  
 問 申込先か健康福祉局障害自立支援課 (☎671-3602 ☎671-3566)

### ひとり親家庭への貸付

①修学資金②修業資金③就学支度資金  
 4月に子どもが高校・短大・大学・大学院・専門学校等に進学予定の人。要事前相談(源泉徴収票が確定申告書と進学予定校の資料を持参)、審査あり。貸付限度額は問合せを  
 申 ①②のみは2月3日から、③のみは3月31日までに、③と①か②を同時申請の場合は2月3日～3月31日に、居住区の福祉保健センター  
 問 申込先かども青少年局ども家庭課 (☎671-2390 ☎681-0925)

### ひとり親の親講座 オンライン開催

ひとり親家庭が離婚予定の親に各種支援情報を提供。事前申込制。詳細は [WEB](#) で  
 日 2月14日(金)10時～13時  
 申 2月7日まで  
 問 ども青少年局ども家庭課 (☎671-2390 ☎681-0925)

## 講演・講座

### 講座「知って備える 足のメンテナンス」参加者募集

足の傷の正しい対処と予防。当日先着150人  
 日 1月17日(金)14時～15時30分  
 問 会場の市民病院 (☎534-3601 ☎316-6580)

### 小児がん相談支援室セミナー 「小児がんのこどものこころのケア」参加者募集

医師と心理士が解説。事前申込制。詳細は [WEB](#) で  
 日 1月25日(土)14時～16時  
 申 1月24日まで  
 問 会場の県立こども医療センター (☎711-2351 ☎731-2761)

### 薬物依存症者と家族 オープンセミナー

抽選250人。オンライン配信もあり。詳細は [WEB](#) で  
 日 2月16日(日)12時30分～16時30分  
 所 横浜市社会福祉センター  
 申 2月9日まで  
 問 横浜ひまわり家族会 (☎080-3488-1996 ☎947-3975) か健康福祉局障害自立支援課 (☎671-3602)

### 対話型美術鑑賞プログラム ファシリテーター養成講座 参加者募集

高齢者の精神安定につながるアート鑑賞プログラムの進行役を養成。高齢者施設の職員、選考20人。詳細は [WEB](#) で  
 日 1月22日(水)・27日(月)・2月13日(木)、全3回  
 所 開港記念会館  
 申 1月15日まで  
 問 健康福祉局高齢施設課 (☎671-3923 ☎641-6408)

### 要約筆記者養成講習会 参加者募集

①パソコン②手書き  
 聴覚障害者等の意思疎通支援。18歳以上の健聴者、各選考。費用など詳細は [WEB](#) で  
 日 4月から、全38回  
 所 横浜ラポール  
 申 2月3日まで  
 問 中途失聴・難聴者協会 (☎475-2064) か健康福祉局障害自立支援課 (☎671-3602 ☎671-3566)

### たつの会 手話講習会 参加者募集

①入門②基礎  
 18歳以上、各選考。①初心者②入門修了者。費用等詳細は [WEB](#) で  
 日 4月から、全42回  
 所 健康福祉総合センターほか  
 申 2月7日まで  
 問 たつの会 (☎070-9165-7460) か健康福祉局障害自立支援課 (☎671-3602 ☎671-3566)

### 聴覚障害者協会 手話講習会 参加者募集

①入門②基礎③通訳Ⅰ④通訳Ⅱ・Ⅲ  
 各選考。①初心者②入門修了者③通訳者を目指す基礎修了者④通訳者を目指す通訳Ⅰ修了者。費用等詳細は [WEB](#) で  
 日 5月から、①②全30回③④全39回  
 所 横浜ラポールほか  
 申 2月7日まで  
 問 聴覚障害者協会 (☎475-2112) か健康福祉局障害自立支援課 (☎671-3602 ☎671-3566)

## 催し



### 女子バスケットWリーグユニテッドカップ ファイナルステージ 市民招待

先着計800組1,600人  
 日 2月7日(金)・8日(土)・9日(日)  
 所 横浜武道館  
 申 1月17日から [WEB](#) で  
 問 にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課 (☎671-4566 ☎664-0669)



### 「みんなで知ろう 小児がんのこと」開催

患者の写真・絵画の展示、メタバース体験などで小児がんへの理解を深める  
 日 2月9日(日)12時～15時  
 所 新都市プラザ  
 問 県立こども医療センター (☎711-2351 ☎731-2761)

### ヨコハマ市民まち普請事業 2次コンテスト 参加者募集

まちづくりの助成金対象提案の公開選考会  
 日 1月26日(日)10時～18時  
 所 市役所アトリウム  
 問 都市整備局地域まちづくり課 (☎671-2679 ☎663-8641)

### 団地フォーラム 開催

活性化の事例発表やパネルディスカッション。先着50人。詳細は [WEB](#) で  
 日 2月11日(火・祝)10時～12時  
 所 市役所1階市民協働推進センター・スペース  
 申 1月14日から  
 問 建築局住宅再生課 (☎671-2954 ☎641-2756)


### YOXO FESTIVAL 2025

未来をテーマにロボットやモビリティなどの展示と技術体験。詳細は [WEB](#) で  
 日 1月24日(金)12時～19時・25日(土)11時～19時・26日(日)11時～17時  
 所 ランドマークプラザほか  
 問 経済局イノベーション推進課 (☎671-4600 ☎664-4867)

## お知らせ

### 「エコハマPay」ポイントの交換期限は 2月2日(日)まで!

各種キャッシュレスポイントへの交換期限の翌日以降は、自動的に「QUOカードPay」へ交換。詳細は [WEB](#) で  
 問 エコハマお客様専用コールセンター (☎900-4830 ☎277-1423)



令和6年度 個人市民税・県民税・森林環境税(第4期)

①納付期限②納付方法のお知らせ

①1月31日(金)まで②スマホ決済、クレジット納付、ペイジー納付、口座振替  
 問 居住区の区役所税務課か、財政局  
 ①税務課(TEL 671-2253 FAX 641-2775)  
 ②徴収対策課(TEL 671-2255 FAX 641-2775)

悩みを抱える女性のためのホットライン

身近な家族や子どもとの会話・コミュニケーションに悩む人の相談に対応  
 日 1月27日(月)~31日(金)の18時~20時。  
 専用電話(みずら相談室 TEL 534-9551)  
 問 みずら事務局(TEL 534-5274) かこども青少年局こどもの権利擁護課(TEL 671-4288 FAX 550-3948)

女性弁護士による離婚・DV法律相談会

各先着6人  
 日 各13時~16時。1月28日(火)・30日(木)  
 申 希望日の1週間前から TEL で会場の市役所市民相談室(TEL 671-2306 FAX 663-3433)

「財政のあらまし(2)」の閲覧

令和5年度決算及び令和6年度上半期の予算執行状況。WEBからも可  
 所 市役所3階市民情報センター、区役所広報相談係  
 問 財政局財政課(TEL 671-2231 FAX 664-7185)


都市計画マスタープラン(案)の閲覧

WEBからも可。意見書の提出は問合せ先へ  
 日 1月15日(水)~29日(水)  
 所 市役所3階市民情報センター、区役所広報相談係、問合せ先  
 問 都市整備局企画課(TEL 671-3749 FAX 664-4539)

都市計画審議会

まちづくりや緑地の保全、都市づくりの方針などの都市計画を調査審議。傍聴可。オンライン配信もあり。詳細はWEBで  
 日 1月24日(金)13時~16時  
 所 市役所市会議事堂  
 問 建築局都市計画課(TEL 671-2657 FAX 550-4913)

意見募集中の案件一覧はこちら



公共事業事前評価 市民意見募集

都市計画道路六角橋線(六角橋地区)整備事業  
 資料の閲覧は期間中WEBで  
 日 1月6日(月)~2月5日(水)  
 問 道路局企画課(TEL 671-2777 FAX 651-6527)

市民意見募集

①地域公共交通計画(素案)  
 ②令和7年度環境衛生業務実施計画(案)  
 ③令和7年度食品衛生監視指導計画(案)  
 資料の閲覧は期間中WEBで  
 日 ①1月20日(月)まで  
 ②③1月8日(水)~2月6日(木)  
 問 ①都市整備局都市交通課(TEL 671-2021 FAX 663-3415)  
 ②医療局生活衛生課(TEL 671-2456 FAX 641-6074)  
 ③医療局食品衛生課(TEL 671-2459 FAX 550-3587)

地域密着型サービスへの民有地活用説明会 参加者募集

介護事業所として土地活用を検討する土地所有者、抽選40人。詳細は1月6日からWEBで  
 日 1月30日(木)13時30分~16時30分  
 所 開港記念会館  
 申 1月23日まで  
 問 かながわ福祉居住推進機構(TEL 264-4784 FAX 264-4785) か健康福祉局介護事業指導課(TEL 671-3414)

施設から

歴史博物館

令和6年度 市指定・登録文化財展  
 日 2月8日(土)~3月16日(日)  
 費 500円  
 問 TEL 912-7777 FAX 912-7781

三溪園

盆栽展

日 1月12日(日)~26日(日)9時~16時(26日は15時30分まで)  
 費 900円  
 問 TEL 621-0635 FAX 621-6343

コロナワクチン定期接種は2月28日(金)まで期間延長します

接種券は不要

問合せ 横浜市予防接種コールセンター TEL 045-330-8561 (月~金曜 9時~17時(土日祝・休日・年末年始を除く)) FAX 045-664-7296



第9回アフリカ開発会議(TICAD9)開催まであと7か月!

「アフリカン ステージ」を開催 申込不要

日時 2月9日(日) 12時~17時(予定)  
 会場 クイーンズスクエア横浜 クイーンズサークル(西区みなとみらい2-3)

2025年8月に横浜で開催されるTICAD9の開催に伴い、アフリカの文化に親しみ、理解を深めることができるイベントを実施します。



問合せ 国際局グローバルネットワーク推進課 TEL 045-671-2068 FAX 045-664-7145

アフリカの音楽とファッションを知る・楽しむ

市内の高校生などによる音楽ステージや、アフリカ布を使用した着物のファッションショーなどを行います。



チャリティープロジェクト

アフリカの貧困・飢餓問題解決への活動に取り組む横浜商業高等学校の生徒が、アフリカ布のハギレを使った作品を販売します。売上はケニアの孤児院などへ寄付されます。



海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩発見」としてお届けします。今回は1月29日の春節にちなみ、横浜ユーラシア文化館(中区)からです。

横浜中華街の風物

横浜ユーラシア文化館副館長 伊藤 泉美

横浜はお正月が二度やってくる華やいだ街です。新暦の正月と旧暦の正月「春節」です。古くは、1913(大正2)年の横浜のガイドブックに横浜の年中行事の一つとして「中華民国正月」が紹介されています。現在は「横浜春節祭」として、中華街にとどまらず、横浜を挙げて行われる早春の一大イベントとなっています。夏には旧暦6月24日に行われる関帝誕があります。関帝誕は横浜関帝廟の主神・関羽の誕生日を祝う祭事です。横浜関帝廟の歴史も古く、幕末の開港間もない頃に小さな祠が創られたのが始まりです。以来、関東大震災、横浜大空襲、そして1986(昭和61)年元旦の火事を乗り越え、現在は第4代関帝廟が街と人びとを守っています。

中華街から歩いて数分の距離にあり、「横浜で世界とつながる」をコンセプトとした博物館が横浜ユーラシア文化館です。ユーラシア地域のさまざまな民族の歴史や文物を紹介するとともに、国際都市横浜ならではの、この街に息づく多様な文化を紹介しています。常設展示室では横浜華僑の婚礼衣装や、中華街の東西南北の牌楼(門)に関する漢王朝の時代の瓦当拓本\*も展示しています。横浜中華街にお越しの際は、横浜ユーラシア文化館まで足を伸ばしてみませんか?

\*軒先部分の屋根瓦に墨をあて、刻まれた模様を紙に写し取ったもの

ウェブ版では抽選で読者プレゼントあり

さらに詳しい話はこちら



横浜華僑女性の婚礼衣装 1940年頃(廣東會館俱樂部寄贈・横浜ユーラシア文化館蔵)▲

横浜ユーラシア文化館 有料

【交通】みなとみらい線「日本大通り」駅下車、すぐ。JR・市営地下鉄「関内」駅下車、徒歩10分。  
 【休館日】月曜(祝日の場合は翌平日)、12月28日~1月3日ほか

問合せ 横浜ユーラシア文化館 TEL 045-663-2424 FAX 045-663-2453



## ひきこもりフェスティバル アート&amp;ムービー

申込不要

入退場自由

入場無料

ひきこもり状態にある人は全国に146万人と推計されています。ひきこもりは、人間関係や心の不調などさまざまな要因やきっかけで、自分の心や身体を守るために、誰にでも起こりうるものです。現代美術家によるアート作品や映像を通じて、ひきこもり状態にある人とその家族の思いを感じてみてください。



## アート部門

1月10日(金)~15日(水)  
市役所アトリウム展示スペースA

## 映像部門

1月15日(水)10時~15時30分  
市役所アトリウム

ひきこもり経験を持つ、現代美術家 渡辺 篤(I'm here project)による作品展示



▲現代美術家 渡辺 篤



▲《Your Moon》 ※本展出品作



©兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会

## 上映作品

- NHKスペシャル「ドラマ こもりびと」  
出演：松山ケンイチ／武田鉄矢 ほか
- 「カンパニユラの夢」  
出演：宮地真緒／六角精児／  
山田ルイ53世 ほか
- 「ひきこもりという履歴」  
2023年広島国際映画祭出展作品

問合せ 健康福祉局ひきこもり支援課 ☎045-752-8463 ☎045-664-0403

## 税に関する申告期限等をお知らせします

## 各種税金や申告に関する期限

対象	申告・納期限	提出先	提出方法
給与支払報告書	1月31日(金)まで	財政局法人課税課(特別徴収センター)(〒231-8314)	eLTAXまたは郵送(中区山下町2 産業貿易センタービル5階)での提出にご協力ください。
固定資産税(償却資産)申告書		財政局償却資産課(償却資産センター)(〒231-8343)	
市民税・県民税申告書	3月17日(月)まで	居住区の区役所税務課市民税担当	郵送または窓口で提出してください。
所得税及び復興特別所得税		居住区の税務署 ※ 旭・磯子・金沢・港南・瀬谷・鶴見・中・西・保土ヶ谷・南区 で、郵送で提出する人は「東京国税局業務センター 横浜南分室」(〒236-8551 金沢区並木3-2-9)に送付してください。	
贈与税			
個人事業者の消費税・地方消費税	3月31日(月)まで		e-Taxで申告・納税できます。 詳しくは国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」や「動画で見る確定申告」で確認してください。



## 税理士による 無料申告相談を開催します

日程・会場など詳しくは、国税庁ホームページ(1月6日から閲覧可)  
または東京地方税理士会ホームページを確認してください。



問合せ 申告期限等について 財政局税務課 ☎045-671-2253 ☎045-641-2775  
給与支払報告書について 財政局法人課税課(特別徴収センター) ☎045-671-4471 ☎045-210-0480  
固定資産税(償却資産)申告書について 財政局償却資産課(償却資産センター) ☎045-671-4384 ☎045-663-9347

Yokohama Happy Lantern Festival 2025

# 横浜春節祭

45日間、街にあふれる約50のランタンオブジェを見に行こう！

## 横浜春節祭2025 開催

鳳凰のランタン(イメージ)▶



【期間】1月15日(水)～2月28日(金)

【主なランタン設置エリア】横浜中華街、都心臨海部にある公園・商店街、新横浜駅 ほか

中華圏で旧暦の正月を祝う文化行事である春節の時期に合わせ、今年も横浜では、まち全体でにぎわいを生み出す「横浜春節祭」が開催されます。

期間中は、美しい発色で華やかに光り輝く「巨大ランタンオブジェ」が、横浜中華街をはじめ、都心臨海部の主要駅や商業施設など約50か所に設置され、獅子舞演舞が披露されます。

その他、「横浜スパークリングトワイライト」では春節をテーマにした花火も打ちあがります。



詳しくはこちら



▲獅子舞演舞の様子

獅子は吉祥のシンボル。中華文化の祝賀行事に欠かせない存在です。

街なかには、商店街や協賛企業などのオリジナルランタンも登場します！



西遊記の雷音寺のランタン(イメージ)▲

今年はさらにランタン設置場所を増やしています。

● 2024年開催時のランタン設置場所



## 豪華景品が当たる スタンプラリーに参加しよう

期間中、デジタルスタンプラリーを開催します。横浜中華街や元町エリアで使える買物券、ホテル宿泊券などの豪華景品が抽選で当たります。

ぜひ参加して横浜でのまちめぐりを楽しんでください。



### 市役所で獅子舞演舞を行います

【日時】1月21日(火)12時15分から(予定) 【会場】市役所アトリウム  
獅子舞演舞後は、オープニングセレモニーを実施します。



問合せ 横浜春節祭実行委員会 ☎045-263-6917 ☎045-661-0604

#### 市政へのご意見・ご提案

手紙

「市民からの提案」と明記し、居住区の区役所へ。市役所や区役所、公共施設に専用封筒もあります。

インターネット

市民からの提案 検索

#### 横浜市LINE公式アカウント

市・区からのお知らせを受け取れるほか、図書館の蔵書検索や道路の損傷通報などのサービスを利用できます。



#### 広報よこはまをアプリやウェブで

広報よこはまは無料アプリ「カタログポケット」で閲覧できます。音声読み上げや多言語にも対応しています。



#### 広報テレビ・ラジオ番組(レギュラー放送のみ)

テレビ	ハマナビ	tvk 18:00~18:30
ラジオ	YOKOHAMA My Choice!	FMヨコハマ 9:30~10:00
	Public Service Announcement	Inter FM897 12:55~12:58

【発行】政策経営局広報課 ☎045-671-2332 ☎045-661-2351

横浜市役所 〒231-0005 中区本町 6-50-10 ☎045-671-2121 (代表)